

# 地域資源マップ

15班



## ①都農神社



都農神社は宮崎県で最も位の高い「一の宮」とよばれ、日本の古代から続く歴史ある神社である。初代の天皇「神武天皇」が、ご祭神をお祀りしたことが都農神社の始まりであると伝えられている。都農神社に伝わる信仰のひとつとして石持ち神事があげられる。「神の石」を心にこめて神社に納めたら願い事が叶うと言われる。都農の子どもは99%町外に出る。そんな子供たちが減るのを阻止できるように、福笑いや太鼓、相撲などの信仰方法も作られたり、子供たちに地元を記憶に残してもらうために祭に力を入れるなどの工夫も行われている。また、2月に行われるお祭りには、新潟など遠方から来てくださる方もいる。

## ②道の駅 つの



道の駅つのでは、都農町でとれたトマト、トウモロコシなどの野菜や、果物などが販売されている。また外の売店ではトマトソフトクリームやトマトパウダーを振りかけたトマトひねり揚げが売られており、多くの観光客が訪れていた。

## ③都農町民図書館



平成5年に現在の場所に移転した。それまでは病院の跡地にあった。移転して、蔵書数が増えた。絵本の読み聞かせを毎週土曜日、日曜日に実施している。

## ④南国プリン都農研究所



最初はカフェから始まり、道の駅でのキッチンカーなどを経て、コロナ禍になりどこに店を出すかという時に、前々から、地元である都農に店を出してくれとの声も多く、都農に出店した。平日は地元の方や土産を買いに来られる方が多く、休日は観光客やカップル、家族での来店が多く、普段売っているものに加え、ドリンクを出すなどして客層にあった品揃えを行うといった工夫をしている。商品に関しては、地元のものを中心に使用しており、鮮度などのこだわりを持っており、一番人気はテゲセボンとなっている。最近ではPRに力を入れており、SNSの活用や、地元のサッカーチームとのコラボに加えて自らテレビ局にアピールするといったことも行っている。

## ⑤豆の樹だんご



平成11年1月に開業し、地元の方のみならず町外の方も多くみられ主に贈答用として購入される方が多い。商品の値段はすべて85円で統一され、黒糖饅頭、わらびもち、かしわもちなどが売られており、人気No.1はよもぎもちとなっている。

## ⑥島田青果



開業して約15年。地元の人を中心に若者からお年寄りまで幅広い年齢層の方が訪れている。以前は都農町産の野菜や果物が中心であったが主に九州他県からも仕入れている。特にぶどうやなしが旬になると賑わう。

## ⑦ツノスポーツ アカデミー 矢研寮



ツノスポーツアカデミー矢研寮はスポーツを通じて地域課題の解決を目指し2020年に誕生した。現在17名の高校生が在籍しており、スポーツを通しての職育活動、産学連携、まちづくりに力を入れている。サッカー、デフサッカーやトライアスロンの援助も行われており、運営は主に地域おこし協力隊が中心となりスクール生は100名を超えている。

都農には魅力がたくさんあったよ！ぜひ行ってみることをお勧めします！

## 課題

図書館で、74年間都農町で暮らしているという女性とお話をさせてもらった。昔の都農町の様子や、学生時代のこと、都農の方言についてお聞きした。困っていることはないかと質問したところ、「病院（耳鼻科・皮膚科）がなく、町の病院では手術ができないということ。仕事がないこと。店が減ってきているためインターネットで注文するも届くのが遅いということ」の3つが挙げられた。都農町では、実際高齢化が進んでおり、ネットになじみがない方も少なくはない。高齢者向けの移動販売車などを活用するなど、高齢者への住みやすい地域づくりが今後の課題となるだろう。

## まとめ

15班は5月18日土曜日に都農町でフィールドワークを行い、7か所の場所を訪れた。都農町では、祭りの開催、地元産品のブランディングなど、地域を活性化させるための取り組みが行われていることを知った。宮崎県都農町でのフィールドワークは、自然の美しさや地元の農業・食文化、地域の魅力や可能性を再認識し、今後も地域社会の維持・発展に関心を持ち続けることが大切だということも改めて考えるきっかけとなった。インタビューにこころよく応じてくださった都農町の皆さんの温かい対応に心から感謝しつつ、今回のフィールドワークでえた知見を今後の学びや活動に生かしていきたい。

